

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1210	単位数	2
担当者名	澤内 大輔	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

本講義では、北海道産農産物・食品の輸出をテーマに、ゼミでの議論やそのための準備を通じ、自ら課題を発見し解決する能力を身に着けることを目標とします。

3年次前期に開講するコマース研究ゼミナールIIでは、自分の主張をサポートする根拠を得るためのデータの分析方法を学びます。信頼できる根拠を得るためには、データをどのように集め、どのように加工すればよいのか、実際に自分の手を動かして学んでいきましょう。

● 到達目標

- ・学生が、基本的な統計用語を理解し、簡潔に論述できる。
- ・学生が、与えられたデータの要約統計量を求めることができる。
- ・学生が、表計算ソフトを用いて、回帰分析や相関分析を実施できる。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：担当者の割り振り
- 2週目 データの可視化
- 3週目 度数分布表・ヒストグラム
- 4週目 代表値・分散
- 5週目 散布図・相関係数
- 6週目 単回帰分析
- 7週目 重回帰分析
- 8週目 確率の定義と場合の数
- 9週目 事象の関係と確率の計算
- 10週目 条件付確率とベイズの定理
- 11週目 確率変数、確率分、期待値
- 12週目 代表的な離散分布：二項分布
- 13週目 代表的な連続分布（１）：正規分布
- 14週目 代表的な連続分布（２）：カイ2乗分布とt分布
- 15週目 標本調査と標本からの推定
- 16週目 補足とまとめ

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：テキストの該当箇所を読み、要点を把握するとともに、不明点を明らかにしておくこと。報告担当者は、報告用のレジメを作成すること。（所要時間：1.5時間）

復習：ゼミでの議論を振り返り、テキストの要点を取りまとめること。（所要時間：1時間）

● 成績評価の方法・基準

ゼミへの積極的な参加態度（50％）、ゼミでの報告内容（50％）をもとに評価します。

● 履修上の留意点

成績評価は、11週以上ゼミナールに出席した学生を対象とする。

Word、Excelを用いた演習を行うので、基本的な利用方法を理解しておくこと。

● 課題に対するフィードバックの方法

ゼミ時に、個別および全体に対して適宜フィードバックを行う。レポートや報告資料については個別にフィードバックする。

● テキスト

竹内広宜（2021）『経営・商学のための統計学入門：直感的な例題で学ぶ』（講談社）2,750円

● 参考書

講義内で適宜指示します。

● 更新日付

2022/03/02 10:24